

## ◎企業誘致・ものづくり産業支援も新たな局面に

先週の22日(火)に富士フィルムHDが長崎市にAI開発拠点を開設するとの発表がありました。年明け早々の朗報です。九州管内でのこの分野の拠点として本県が誘致に成功したのは、古森会長が本県出身(しかも私の母校西高OB)であるという「郷土愛」的な要素もなくてはなかつたと思いますが、そこはビジネス、やはりその決め手は長崎大学が担う「IT人材の育成の基盤」があることと県内に「タッグを組める技術力を持つ地場企業の存在があること」だったと担当部署から確認できたところです。

中村知事は就任以来、企業誘致に力を入れておりこれまで約50社、雇用者数にして約5000人の新規雇用を成果としてきましたが、オフィス系の企業誘致が多く製造業種が少ないため、所得が上がっていく業種に就職を求める男性の雇用実績がでていないことが課題とされてきて、私も過去の個人質問では製造業誘致を強く働きかけてきました。

しかし時代は「人を使わないAI」時代に突入してきています。さすればまだまだ将来性のある分野に絞った製造業誘致は継続するとしても、今後は前述のHDのようなAI分野をターゲットに誘致活動を積極的に行っていくことが肝要で、誘致企業自体の雇用数は少なくともそこから発生する製造物の受注を本県企業が獲得することで地場企業振興を図ることも今後目指す取り組みの一つとなります。地場企業側は今持つ技術力を誘致決定前の水面下の段階で売り込みビジネスチャンスを掴む。そのお手伝いを県が行います。

また、県外需要の更なる獲得を目的として「グループを組んで受注する」事業も始まっており、既に「新成長ものづくり産業事業展開拡大認定グループ」として6つのグループが計画認定されています。事業のイメージは以下、関心のある方はぜひご連絡ください。担当部署につながります。関連するファンド事業も募集期間初日の2/22にHPでアップされますので「よかネット長崎」で検索を。

P.S. 長崎市、もったきばらんば!

